



(甘沼地域)

## 甘沼ふれあいの会 待ち遠しいふれあいの仲間

甘沼では、元湘北地区会長の故沼上伊次郎氏の時に自治会と民生委員や協力者が、一人暮らしの高齢者や体に障害を持つ人たちの集まりを始めた。

それを「ふれあいの会」と名付けた。平成10年代に入り、湘北各地に社協誕生の気運が出てきたので組織の改革を行った。ふれあいの会を活動団体の一つと位置づけ、民生委員の協力を得て活動の幅が広がるようにし、甘沼社会福祉協議会が発足した。

ふれあいの会は、毎月1回実施しています。現在は、約20名の人たちが30数名の高齢者や障害のある人たちのお相手をしています。参加費は昼食代として一人300円です。民生委員やその他ボランティアの人たちの長年にわたる研究のおかげで、その内容の良さが参加した人を喜ばせています。誰でもできるゲーム、絵を描いたり、人形を作ったり、みんなで歌える古い歌など合唱します。春に桜のお花見や、アヤメの花の咲く頃には、近くのお宅の花畑を見に野外にも出ます。それと何よりの楽しみは『手作りの昼食』です。陶器の器に盛った暖かい煮物やみそ汁など、心のこもった品々は、大勢の人と一緒に食べると何倍もおいしいようです。

(小川 高男)



(福祉マーク)



(懐かしい歌の後は楽しい昼ご飯)